



い き い き

小 富 士 っ 子



R 4 学校便り No.29

令和 5. 3. 9

四国中央市立

小富士小学校



桜の開花宣言は、ソメイヨシノによって行われます。でも、ソメイヨシノより一足早く、2月末頃から咲く桜の一種に河津桜があります。先日、遠足の日の朝、河川敷の様子を見に行ったときに、河津桜が出迎えてくれました。6日は二十四節気の「啓蟄」。冬ごもりしていた虫たちが春の暖かさを感じて土の中から出てくる頃と言われています。

日中の気温は高くなり、春の訪れを感じさせてくれる時季。令和4年度のしめくくりとしてそれぞれの学年のまとめをしっかりと行い、4月からの一学年進級に向けて、がんばっている小富士っ子です。

6年生を送る会で盛り上がりました



あいにくの雨のため、河川敷きへの遠足にはいけませんでした。6年生送る会は盛大に行うことができました。それぞれの学年が6年生に感謝の気持ちを伝えようと、工夫を凝らし、クイズを出したり、手紙を渡したり、劇をしたり、対決をしたりしました。

6年生は、国語で学習した谷川俊太郎の「生きる」という詩の群読を発表してくれました。ほんの小さな感動にも生きていくということを実感します。様々な人、もの、自然などとの出会いを大切に、感謝の思いを持ってこれからも生活していったほしいと思います。

そして、6年生を送る会のもう一人の主役は5年生。楽しい劇を披露して6年生に感謝の思いを伝えてくれました。それだけでなく、送る会の計画、進行も上手にしてくれました。本来なら、遠足に行って河川敷きでも、いろいろな分担があったことと思います。ありがとうございました。その様子を見てみると、6年生から小富士小学校の最高学年というバトンを引き継いで、しっかりと歩んでくれることと確信しました。

